

2024-3-1
No.1098 500円

思想運動

経済安保法秘密保護法案に反対を	2面
ガザ攻撃開始から5か月のパレスチナ	3面
女性の声 家族・社会との関わり	4~5面
韓国OP労組の来日闘争に連帯	6面
労働組合の青年活動家が語る(下)	8~9面
群馬の森朝鮮人追悼碑撤去問題	10面
映画時評=『水平線』	11面

日東電工は韓国OP労働者の不当解雇を撤回せよ！
 東京総行動に参加し、品川にある日東電工東京本社前で抗議のアピールをする韓国OP労組の代表(写真右)と支援者たち(2月15日 関連記事6面)



階級という一本の線で

やられ放題の状況を変えていくために

吉田茂邸に「負けた」

わたしは神奈川県の大磯町に住んでいる。連れ合いは息子の小学校のPTAで特別支援教育についての小さな集まりを組織している。先日そこで連れ合いが聞いてきた話である。ちょうど10年前に、ある

片隅にまで支配階級意識

しかし、町ゆかりの著名人だからとか、観光資源になるから、あるいは議会や行政の人権意識の欠如がこの不条理の本当の原因ではない。吉田茂邸が焼失したすぐ後に神奈川県は西武鉄道からその土地を買取り、国と県が協力して、トントン拍子で何億という金が工面され、10年と経たないうちに公園として再建されたのである。

生の当たり前の望みよりも、死んだ人間の家の再建が優先されたのだ。片隅にまで支配階級意識

死んだ人間の家の再建が優先されたのだ。片隅にまで支配階級意識

民地主義的収奪を強化するた

民地主義的収奪を強化するた

民地主義的収奪を強化するた

風習の歴史展示、とくに朝鮮の中学校に行くのを諦めざるを得なかった。なぜエレベーターの予算は削られたのか。

風習の歴史展示、とくに朝鮮の中学校に行くのを諦めざるを得なかった。なぜエレベーターの予算は削られたのか。

風習の歴史展示、とくに朝鮮の中学校に行くのを諦めざるを得なかった。なぜエレベーターの予算は削られたのか。

風習の歴史展示、とくに朝鮮の中学校に行くのを諦めざるを得なかった。なぜエレベーターの予算は削られたのか。

風習の歴史展示、とくに朝鮮の中学校に行くのを諦めざるを得なかった。なぜエレベーターの予算は削られたのか。

風習の歴史展示、とくに朝鮮の中学校に行くのを諦めざるを得なかった。なぜエレベーターの予算は削られたのか。

「吉田茂邸に負けた」というのは、ちょうど機軸

「吉田茂邸に負けた」というのは、ちょうど機軸

「吉田茂邸に負けた」というのは、ちょうど機軸

「吉田茂邸に負けた」というのは、ちょうど機軸

「吉田茂邸に負けた」というのは、ちょうど機軸

「吉田茂邸に負けた」というのは、ちょうど機軸

望、大隈重信、陸奥宗光、岩崎弥次郎、安田善次郎などの

望、大隈重信、陸奥宗光、岩崎弥次郎、安田善次郎などの

望、大隈重信、陸奥宗光、岩崎弥次郎、安田善次郎などの

望、大隈重信、陸奥宗光、岩崎弥次郎、安田善次郎などの

望、大隈重信、陸奥宗光、岩崎弥次郎、安田善次郎などの

望、大隈重信、陸奥宗光、岩崎弥次郎、安田善次郎などの

のほつがエレベーターより優先順位が高いと判断されたというのだ。友だちがいる近くの学校に行きたいという小学

のほつがエレベーターより優先順位が高いと判断されたというのだ。友だちがいる近くの学校に行きたいという小学

のほつがエレベーターより優先順位が高いと判断されたというのだ。友だちがいる近くの学校に行きたいという小学

のほつがエレベーターより優先順位が高いと判断されたというのだ。友だちがいる近くの学校に行きたいという小学

のほつがエレベーターより優先順位が高いと判断されたというのだ。友だちがいる近くの学校に行きたいという小学

のほつがエレベーターより優先順位が高いと判断されたというのだ。友だちがいる近くの学校に行きたいという小学

国際婦人デー3・9東京集会

3月9日(土) 開会14時 文京区民センター

基調報告／特別報告／詩よみ 反戦の詩／たたかひの現場から

主催 国際婦人デー3・9東京集会実行委員会／本郷文化フォーラム・ワーカースクール

にほかならない。国交省は2023年には全国の道路や橋の約4割以上、トンネルの3割以上が建設から50年以上が経過し老朽化しているため自然災害には耐えられないことを認めていた。しかしこのままなら、あわせて全国の地方公務員の4割以上が不安定雇用で働き換えられた。非常時の行政対応はなおさら崩壊的になるざるを得ない。耐震化が財政難で進められなかったことが被害拡大につながったと石川県も認めている。「全ては資本家階級の利益のために」との階級意識で貴族や朝鮮半島出身労働者に関する碑や像もこれに統一してほしい」と息巻いているのも、本人の下の石翼趣味だけの問題ではなく資本家階級の要求を吐露しているのだ。

「ローカル線の廃止」問題についても同様だ。国鉄の民営化で赤字だ何だと拍車がかかけられ、生活のための移動手段が奪われている。一方で新幹線、リニアには巨額の金が注ぎ込まれている。採算優先の統廃合で近くにあった病院が無くなり、歩いて通える小学校も廃校された。公立の幼稚園や保育園は民営化しなければ国からの補助が削られる。それは「民営化すれば良くなる」という住民の市場競争信仰に押し込まれるという悲しい現実。

すべてを労働者階級の利益に！
 同様のことは皆さんの住む地域でも、労働現場でも繰り返されているのではないかと。それらは自然発生的に地上に上がった、今後反省すべき不具合といった種類のものではない。

【藤原晃